

講座参加報告

地域の coworking コミュニティを 考える

「反町カフェぼらん」は就労支援事業を展開する中で居場所の必要が見えたことから2018年11月に設立しました。地域のなんでも相談窓口となるために、地域の人々や団体・学校や生活クラブ運動グループとの連携を深めて事業・活動をしてきました。2024年新たな中間支援組織「(一社)つながる市民連帯経済かながわ(仮称)」設立により事業統合の手続きや課題、今後の方向性を考えていかなければなりません。

3月に未来機構フォーラムの講師となった「チガラボ」代表の清水さんの行う「 coworking スペース&コミュニティの役割を深める」講座が4/21(日)にあり参加してきました。この企画には日本で最初に coworking スペースを開設した神戸の「カフーツ」代表伊藤さんもイベントゲストでお越しいただいていました。

「チガラボ」を作った経緯、目指すこと、たくらみが集まる・生まれつづける社会にするために、内容深いお話でした。

coworking スペースとは年代・職種ともさまざまで、違いに関心を向けあうコミュニティです。多少の会費を払うと安心安全・快適な場が持て、つながり、学びそして実践できる場所になります。さまざまなテー



マのイベントを行い入り口をつくと、参加者も主役になれる次のアクションが生まれてきます。定番イベント「チガラボチャレンジ」では、やりたいことを持っている人がコミュニティに宣言することで、周囲の力を借りて実現に向けて進むための場を毎月開催。そこで形にしたOさんがオープンした話せるシェア本屋「とまり木」でフィールドワークをしてきました。

今回、地域の coworking スペース&コミュニティ運営の事例を学び「反町カフェぼらん」に反映できることがあるといいなと感じました。ぼらんでは、ランチを提供しながら地域の居場所になるためデイサロン、講座、地域食堂、フードシェアなどやっています。皆さんの想いはいかがですか？

(阿部 麻夕子)

